



APWSL News

Asia Pacific Workers Solidarity Links

No.2

2006年4月

70/97 Moo 3 Tumbol Klongnueng, Klongluong, Pathumthani 12120, Thailand

Tel: 0-2902-1740 Fax: 0-2902-1810 Mob: 0-9517-2087 email: nanakornp@gmail.com

W T O 人権侵害の国際機関



“WTO反対！”香港で開催されたWTOに対する行動中、このスローガンが英語と広東語で響き渡った。私が警察に留置されている間もこのスローガンが聞こえた。このWTO第6回閣僚会議への抗議行動は私の人生で最もひどい経験であったが、同時に最も意味深い経験でもあった。APWSLの仲間の皆さんとこの経験を共有したい。

昨年10月に開催されたメルボルン会議で香港での行動には二つの意義があると確認された。一つはAPWSLの書記局会議(?)を開催すること、二つはWTOに対する強い行動を取る事であった。そこで私は新たにAPWSL会員と

なったランシット地域の労働組合員ピ・スガングと一緒に12月12日、香港に到着した。APWSL会議を14日に開催した。15日には女性のデモに参加した。16日にはネスル社に対する抗議行動に参加した。ピクトリア公園で開催された反WTOの行動やデモなどに毎日参加した。しかし、逮捕されるとは思ってもみなかった。WTOから受けた最も直接的な暴力であった。

WTOの暴力性は私にとって新しいことではない。1995年からチュラルコーン大学やタマサート大学でのグローバル化のセミナーでWTOについて学んできた。WTOの前身がGATTであることも知っていた。グローバル化がどのように草の根の人々に影響を与えるか知りたかったので本や新聞からもっと情報を得ようとした。その当時、WTOの影響についてはあまり良く知られていなかった。1997年に東南アジア経済が経済危機に直面して初めてタイの人々はグローバル化の本当の影響を知るようになった。多くの労働者が解雇され、その後も長く失業状態にあった。柔軟な雇用、民営化、外国からの直接投資を呼ぶための自由貿易地帯などのWTOの政策が導入された。

WTOの前事務局長はタイのスパチャイだった。彼はこの役職で高給を得ていたが、タイに何も良い事をしなかった。彼の任期中にタイ政府は石油の民営化を行った。政府は石油産業を売却することで他の製品を輸入する必要があると説明した。(?)しかし、石油産業は国有であるべきである。民営化による高騰した石油を国民は買う事ができない。

グローバル化の影響は労働者にだけではない。農民にも影響があった。私はコーヒー栽培農家の出身なので、農民の状況をとて心配している。アジア開発銀行がタイに来てダム建設の融資を行った。この事業により灌漑用水を利用できるが、農民はそのため金が必要となる。またこの事業により国は負債を負い、環境にも悪い影響があった。

WTOの影響は他の貧しい国にも出ている。多くの開発途上国と同様に、タイも食料を自給しなければならない。世界中で大企業は小規模農民から農業を取り上げようとしている。大企業はその利潤を最大化できるような政策を取るよう政府に圧力を掛けている。その結果、小農

は土地を失うか、一生掛かっても払いきれない負債を負ってしまっている。シアトルとカンクンの閣僚会議でWTO政策による被害を訴えるために多くの農民が自殺した。多くの農民団体がWTO反対に団結して立ち上がっている。私はこれと連帯しなければならない。

Asia Pacific Workers Solidarity Links

香港 A P W S L 会議 議事録

2005年12月14日 香港工盟事務所にて



参加者

タイ スリパイ スガンダ・スパイタ
 韓国 チャン・チャンウォン
 シンガポール シナパン・サミドライ
 フィリピン テス・ジヨキノ
 インドネシア イマン・ラマナ
 香港 アボ・ラン (AMRC) フラン
 クレン・チョイ (工盟)
 チャン・ヤンカン (労働者教区センター)
 セト・チュン・ポン (近隣労働者奉仕
 センター) ビリー・セジョ
 日本 安田 幸弘 河添 誠 (レイバ

ーネット日本)

台湾 タン・シュー サンディ・ペン (労働人権協会)
 オーストラリア カレン・モラン (AAWL)

傍聴者

アイリーン・ザビエル TIEマレーシア

この会議は香港APWSLとWTO抗議行動のために香港に来ていたAPWSL会員との交流のために設定された。香港APWSLとの連絡を確立することが主要な目的であった。

香港の状況

香港APWSLは独自に活動している労働団体の非公式のネットワークで情報交換している。

主な取り組み課題

1. 労働の柔軟化
2. 下請け化
3. ナショナルセンターの分裂状況 香港APWSLは独立センターの工盟とつながっている。
4. 組織化は困難だが、非公式のネットワークがある。
5. 消費者運動はジョルダノなどの香港の多国籍業に的をしばっている。

困難性

- 1 新しいメンバーに古いメンバーからA P W S Lに関する情報が伝えられていない
- 2 新しいメンバーはA P W S Lとの接触経験がない。言語の問題も改善が必要

A P W S L 書記局報告

調整委員 パラット 代表 チャン・チャンウォン

オーストラリア訪問交流

財政状況報告

前書記局から会計報告を求めたが、得られなかった。

新しい調整委員を機能させることを優先させることとなった。(?)

前書記局からの会計報告を求めるといふ日本委員会の要請を再考するように求める

会計報告の説明を求めることは大切。しかし新しい書記局はそのことにより不利な状況におかれてはならない。(?)

各国委員会は連帯カンパを行うべきである。

ムンバイ会議では資金がなかったが、A P W S Lの参加を可能にするカンパがあった。

(?)

A P W S Lニュースが配布された。

チャン・チャンウォンがホームページを開発している。

インドネシア イマン (L I P S)

イマンは多くの労働団体と協力しているL I P Sで働いているが、労働者の組織化に関わっていない。L I P Sは調査や情報収集を中心としている。

フマニカやY P PのようなA P W S L会員は労働者を組織している。

多くの活動はA P W S Lネットワークと関わりなく行われている。インドネシアの労働団体は主に韓国A P W S Lとの関係でA P W S Lを捉えている。例えば韓国被服化学労組のインドネシア交流。

イマンは韓国を訪問し、チャン・チャンウォンに会い、労働者と一緒に生活した。

2006年1月に韓国から6人がスラバヤを訪問交流する予定。

フィリピン テレサ (K M U)

K M Uは東南アジア地位調整委員を務めている

フィリピンの状況

組合員の拡大

最低賃金の135ペソへの引き上げ

政治的弾圧 40人の組合・農民指導者が虐殺

労働者の権利の抑圧 製紙労働者の例

ハシェンダ労働者の勝利

政治弾圧を焦点としたメーデーの取り組み

シンガポール サミドライ

オーストラリアに向かう途中のパラットとチャンの訪問

タイの移住労働者を訪問

日本委員会 山崎は香港に来れなかった。

レイバーネット日本
A P W S L 通信活動を支援
レイバーネット・アジアの技術支援

オーストラリア A A W L カレン

Tシャツなどの土産を配布
A P W S L ニュースを配布

翻訳 山崎 精一 (?) は意味が不明だが、そのまま翻訳した箇所